

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2007-117581(P2007-117581A)

【公開日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2005-316458(P2005-316458)

【国際特許分類】

A 6 1 H 39/04 (2006.01)

B 2 9 C 51/08 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

B 2 9 L 31/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 39/04 K

B 2 9 C 51/08

B 2 9 K 105:04

B 2 9 L 31:58

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月21日(2008.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

合成樹脂発泡シートが熱圧縮成形されて、多数の突出部が形成されてなる凹凸型敷きマットであって、

腰部に対応する部分の突出部は、人体の他の部分に対応する部分の突出部より剛性が高く
されていることを特徴とする凹凸型敷きマット。

【請求項 2】

合成樹脂発泡シートが、頭部から脚部までの部分に対応する上下 2 枚の発泡シートの間に
、腰部に対応する部分に別の発泡シートを配して積層したものであることを特徴とする請
求項1記載の凹凸型敷きマット。

【請求項 3】

合成樹脂発泡シートが、頭部から脚部までの部分に対応する上下 2 枚の発泡シートの間に
、腰部に対応する部分に別の発泡シート及び頭部から腰部までの部分に対応する部分に更
に別の発泡シートを配して積層したものであることを特徴とする請求項1または2記載の
凹凸型敷きマット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

本発明の凹凸型敷きマットは、合成樹脂発泡シートが熱圧縮成形されて、多数の突出部が
形成されてなる凹凸型敷きマットであって、

腰部に対応する部分の突出部は、人体の他の部分に対応する部分の突出部より剛性が高く

されていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

また、本発明の凹凸型敷きマットは、合成樹脂発泡シートが、頭部から脚部までの部分に対応する上下2枚の発泡シートの間に、腰部に対応する部分に別の発泡シートを配して積層したものであることが好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

またさらに、本発明の凹凸敷きマットは、合成樹脂発泡シートが、頭部から脚部までの部分に対応する上下2枚の発泡シートの間に、腰部に対応する部分に別の発泡シート及び頭部から腰部までの部分に対応する部分に更に別の発泡シートを配して積層したものであることが好ましい。